

基本目標において定める数値目標の達成状況

基本目標 1 本町に魅力あるしごとを創る ＜産業振興による地域創造戦略＞				基本目標 2 本町への新しいひとの流れを創る ＜人に選ばれる地域創造戦略＞				基本目標 3 若い世代の 結婚・出産・子育ての 希望をかなえる ＜子育て世代に選ばれる地域創造戦略＞				基本目標 4 地域を創り直し、 安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する ＜住み続けることができる地域創造戦略＞			
数値目標	5年間で150人分の新規雇用を創出する。			数値目標	5年後までに転入者数・転出者数を均衡させる（社会増減±0）			数値目標	令和2年度～令和6年度までの出生者数で、200人を目指す。			数値目標	5年後、健康寿命を男性、女性ともに延伸させる。		
指標	新規雇用者（累計）			指標	社会増減（転入者－転出者）			指標	出生者数（累計）			指標	健康寿命の延伸		
目標値	150人			目標値	±0人			目標値	200人			目標値	男性・女性ともに延伸		
	実績値	達成率	評価		実績値	達成率	評価		実績値	達成率	評価		実績値	達成率	評価
R2	11	36.7%	C	R2	▲65	▲18.2%	D	R2	27	67.5%	B	R2	男 77.8 女 83.8	－	B
R3	26	43.3%	C	R3	▲65	▲18.2%	D	R3	60	75.0%	B	R3	男 78.7 女 82.4	－	B
R4	45	50.0%	C	R4	14	125.5%	A	R4	88	73.3%	B	R4	男 78.9 女 83.3	－	B
R5				R5				R5				R5			
R6				R6				R6				R6			
総合				総合				総合				総合			

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している
 B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている
 D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

基本目標（１）本町に魅力あるしごとを創る〈産業振興による地域創造戦略〉

「数値目標」５年間で150人分の新規雇用を創出する。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績												総合評価
				評価指数	単位		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
① 既存産業の強化・拡大																			
1	(1) ①	「きゅうりタウン構想」推進事業 本町の特産品である促成きゅうりを核とした施設園芸を振興し、町内への移住・定住促進による担い手確保や新規就農者の拡大を図るため、受け入れ体制を整備するとともに、新技術導入による生産量・品質向上に向けた取り組みを支援する。	産業振興課	事業による新規就農者数 (累計)	人	5	2	A	2	C	6	A							
				相談会等における相談件数 (年間)	人	30	4		0		0								
2	(1) ①	海陽町ブランド力強化事業 地元企業との連携による海陽町ブランド商品の新規開発や生産拡大、品質向上に向けた取り組みや販路の拡大支援等、ブランド力の強化に向けた支援を行う。	産業振興課	事業による雇用人数 (年間)	人	12	3	D	3	D	0	D							
				(米)栽培面積 (年間)	反	300	12		13		13								
3	(1) ①	海陽町まるごとPR事業 都市部に向けて本町の農産物、魚介類や加工品等のPR活動を行うとともに、ネット販売に向けた取り組みを行う。	観光交流課	地元特産品の売上額 (年間)	千円	11,000	31,483	A	31,395	A	32,099	A							
				生産者数 (年間)	件	42	80		71		68								
② 新規産業の創出																			
4	(1) ②	海陽町ふるさと創造戦略補助金による支援 (起業支援事業) 町内で事業を継承して起業・創業する場合に、事業所開設経費、経営経費、雇用促進に関する経費の一部を助成する。	産業振興課	支援による起業・創業件数 (累計)	件	5	0	D	1	C	2	B							

基本目標（１）本町に魅力あるしごとを創る＜産業振興による地域創造戦略＞

「数値目標」５年間で150人分の新規雇用を創出する。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績 評価指数 (KPI)	単 位	目標値	実 績										総合 評価	
							R2		R3		R4		R5		R6			
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価		
5	(1) ②	新たな農業振興に取り組むための支援事業 耕作できる農用地を求める事業者（借り手）と遊休農用地の所有者（貸し手）のマッチングを行い、遊休農用地の有効活用を図るとともに、新規作物や新規栽培方法等の新たな取り組みに係る栽培経費等の支援を行う。	産業振興課	遊休農用地の 利活用面積 (累計)	a	250	0		0		0							
						5	2	A	4	A	7	A						
6	(1) ②	移住定住起業支援事業 (移住・定住・交流センターの設置) 地域資源を活かした起業・創業を促進し、新たな雇用を創出するため、起業・創業に係るサポート拠点を活用し、起業・創業者への支援を行う。	産業振興課	支援による起 業・創業件数 (累計)	件	5	0	D	0	D	0	D						
③ 担い手育成と体制整備																		
7	(1) ③	みらいの担い手育成事業 一次産業（農業・林業・漁業）に携わる新規就労者を受け入れた雇用主に、新規就労者の人件費を助成し、一次産業の後継者の確保・育成・支援を図る。	産業振興課	事業による新 規就労者数 (年間)	人	5	4	A	6	A	6	A						
8	(1) ③	「四国の右下」若者創生事業 人材環流と地域活性化を図るため、県・市町及び関係団体で「『四国の右下』若者創生協議会」を設置し、「サテライトオフィスの誘致拡大」と「若い世代にターゲットを絞った戦略的な移住・定住」を促進する。	産業振興課	移住者数（年 間）	人	50	70	A	43	A	62	A						
9	(1) ③	定住人材安定循環事業 町内企業・事業者等への移住・定住者の受け入れに係る就労支援及び人材育成支援を行う。	産業振興課	事業による就 労者数（累 計）	人	3	0	D	0	D	0	D						

基本目標（１）本町に魅力あるしごとを創る〈産業振興による地域創造戦略〉

「数値目標」５年間で150人分の新規雇用を創出する。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績 評価指数 (KPI)	位 単	目標値	実 績										総合 評価	
							R2		R3		R4		R5		R6			
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価		
10	(1) ③	企業誘致定着支援事業 都市部の企業を対象とした集団フェアや個別セミナーを開催し、企業誘致の促進を図るとともに、講師等を招き、企業を受け入れする地域や支援者の育成を図る。また、空き家等改修費を助成することにより、企業の地域への定着を図る。	産業振興課	支援による企業の定着数 (累計)	件	5	0	D	0	D	0	D						

基本目標（２）本町への新しいひとの流れを創る〈人に選ばれる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後までに転入者数・転出者数を均衡させる（社会増減±０）。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績値												総合評価
				評価指数	単位		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
① 移住・定住の促進																			
11	(2) ①	スマートフォン等を活用した情報発信の強化 本町では、広報誌やデータ放送、ホームページ等の広報媒体を使って情報発信を行っているが、その内容をさらに充実させながら、今後ソーシャルメディアにおいても、分かりやすく町政情報を発信するとともに、本町の魅力を広く内外へ発信する。	行革政策課	ホームページのアクセス数（年間）	万回	88	56	B	65	B	56	B							
12	(2) ①	移住定住起業支援事業（移住・定住相談会、移住・定住フェアへの参加） 都市圏等で開催される移住相談会・移住フェアへの参加や個別セミナーを開催、移住・定住希望者の獲得に向けた積極的なPR活動、希望者への相談を行う。	産業振興課	相談会等における相談件数（年間）	件	20	15	B	14	B	102	A							
13	(2) ①	空き家改修支援事業 移住・定住者が売買または貸借により所有した空き家で居住を始めるにあたり、改修が必要な場合にその改修費の一部を助成することで、移住定住の促進を図る。	産業振興課	改修等件数（累計）	件	50	9	A	18	A	25	A							
14	(2) ①	求人情報の提供 移住・定住希望者の就職支援を行うため、ハローワークと連携した支援体制を構築し、本町内の求人情報を本町ホームページ等において掲載するとともに、窓口において求人情報の提供等を行う。	産業振興課	窓口を通じた就職支援相談件数（累計）	件	50	29	A	81	A	130	A							
15	(2) ①	移住定住起業支援事業（移住・定住体験事業） ツアー型の移住・定住体験メニューを用意し、本町への本格的な移住・定住に向けたきっかけを創出する。	産業振興課	ツアー参加者数（年間）	人	10	0	D	0	D	0	D							

基本目標（２）本町への新しいひとの流れを創る〈人に選ばれる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後までに転入者数・転出者数を均衡させる（社会増減±０）。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績値												総合評価
				位 単	目 標 値		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
16	(2) ①	おかえReターン海陽・奨学金支援制度の推進（新） 大学生等が卒業後、町内に居住し、かつ地元で就職した場合において、大学生等が借り入れた奨学金の返済について、おかえReターン海陽・奨学金支援事業助成金を交付することにより、本町へのUターン及び定住、地元就職の促進を図る。	教育政策課	申請数（累計）	件	24	11	A	27	A	43	A							
17	(2) ①	移住定住起業支援事業（移住・定住支援事業） 移住・定住者の交流の場として、コワーキングスペース城山荘をサポート拠点として活用し、移住を促進する。各地域の若者不足解消を目的として取り組む。	産業振興課	事業を通じた転入数（年間）	人	5	0	D	0	D	0	D							
18	(2) ①	空き家等住宅情報の提供体制整備事業 空き家等の物件に関する円滑な流通・マッチングを促進するため、空き家に関するデータベースをホームページで公開する。	産業振興課	状況調査物件数（累計）	件	100	17		27		40								
				登録物件数（累計）	件	90	17	A	27	A	39	A							
				定住件数（累計）	件	75	15		30		47								
19	(2) ①	海陽町暮らし体験事業 本町での暮らし体験や交流、住宅探し、就職活動を支援するため、短期滞在ができる移住希望者向け住宅として、移住体験型施設を活用し、移住・定住を促進する。	産業振興課	転入者数（年間）	世帯	2	0	D	2	A	3	A							
					人	3	0		6		4								
② 交流人口・関係人口の創出																			
20	(2) ②	竹ヶ島海域公園魅力化事業 珊瑚の産卵・卵の捕獲、定着研究を行い、海域公園の環境整備を行うとともに、研究過程を観光産業に結びつける。	観光交流課	珊瑚観察観光客数の増（年間）	人	1,000	-1,421	D	558	C	3,821	A							

基本目標（２）本町への新しいひとの流れを創る〈人に選ばれる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後までに転入者数・転出者数を均衡させる（社会増減±０）。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績値										総合評価	
				評価指数	単位		R2		R3		R4		R5		R6			
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価		
21	(2) ②	阿佐東地域観光ツアー造成事業 四国東南部に位置する阿佐東地域において、公共交通機関・沿線の行政機関・観光施設等の関係機関が連携し、広域的観光資源を活用した集客できる観光ツアーの造成等、広域的組織による取り組みやモデルツアーの検討を行う。	観光交流課	切符販売枚数 (年間)	件	1,400	568	C	99	D	1,859	A						
22	(2) ②	南四国アイランド活性化事業 (新) 南四国地域のブランド品開発と生産者、都市部での販売事業者と協働で、東京や大阪等のマーケティング活動による産業の活性化策を実施している。	観光交流課	都市部での販売活動 (年間)	回	3	2	C	4	B	3	C						
				商品販売額の増 (年間)	千円	2,000	98		36		162							
23	(2) ②	漁協「とれとれ市」開催事業 町内の3漁協（浅川・瀬浦・穴喰）が連携して定期的に「とれとれ市」を開催し、地元水産物の消費拡大、認知度の向上を図るとともに、町内外の交流人口の増加を促進する。	産業振興課	開催回数 (年間)	件	1	0	D	1	A	1	A						
				来場者数 (年間)	人	1,400	0		1,200		1,200							
24	(2) ②	DMV導入効果向上事業 (新) 世界初となるDMV（デュアル・モード・ビークル）導入効果を最大限に発揮するため、地域住民の機運醸成を図るとともに、積極的にPRすることで本地域への誘客を図る。	観光交流課	阿佐東線利用者数 (年間)	万人	6.2	4.9	B	2.3	C	4.3	B						
25	(2) ②	南四国観光活性化事業 (新) 清流海部川、野根川の自然環境を全国・世界に発信することにより、観光客の誘致と南四国の観光資源を用いた誘客コンテンツの開発を行う。また、世界初となるDMV運行に係る観光啓発活動と地場産業の活性化に向けた取り組みを行う。インバウンド対策として、徳島空港と高知空港を結ぶ四国東南部ルートコンテンツづくりと合わせ、アウトバウンド旅行者の利用対策を検討する。近年の情勢を踏まえ、AIを使ったインバウンド対応システムの構築を検討し、町内観光事業者へのインバウンド対応を推進することにより、観光事業の活性化を図る。	観光交流課	観光入込客数の増 (年間)	人	3,000	-49,454	D	-35,325	D	-31,895	D						

基本目標（２）本町への新しいひとの流れを創る〈人に選ばれる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後までに転入者数・転出者数を均衡させる（社会増減±０）。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績値												総合評価
				評価指数	位 単		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
26	(2) ②	交流・体験と特色ある教育の推進事業 四国及び県の代表的な刀剣「海部刀」をはじめとした地域の魅力ある文化財を、様々な交流・体験活動や各種イベントの実施を通じて、「魅力ある自然・歴史とあたたかい人間性のまち」を町内外に発信する。	地域つながり課	博物館利用者数 (年間)	人	3,300	3,451	A	2,890	B	5,790	A							
				イベント回数 (年間)	回	15	14		6		6								
27	(2) ②	県南地域づくりキャンパス事業 若者の発想や視点を活かした新たな地域活性化の取り組み及び交流人口の拡大を図るため、県・市町・地域住民が一体となり、県南部域をフィールドとした大学の授業や地域住民を対象とした公開講座、地域が抱える課題解決のために大学との共同研究等を実施するとともに、新たに県外大学等も誘致し、農山漁村体験を通じたフィールドワーク等を併せて実施する。	産業振興課	事業による来町人数 (年間)	人	50	0	D	44	A	64	A							

基本目標（3）若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる〈子育て世代に選ばれる地域創造戦略〉

「数値目標」令和2年度～令和6年度までの出生者数で、200人を目指す。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績値												総合評価
				評価指数	単位		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
① 結婚・出産・子育ての支援																			
28	(3) ①	海陽町晩婚化対策事業 南阿波定住自立圏等と広域連携し、婚活事業（婚活イベント等）を実施することにより、結婚を希望する若者の「出会い」の機会を提供する。	子どもあゆみ保健課	イベント開催数 (年間)	回	1	0	D	0	D	0	D							
29	(3) ①	インフルエンザ予防接種費用助成事業 児童及び妊婦を対象としたインフルエンザワクチン等接種者に対し、接種料の一部を助成する。感染症に対する免疫を確保し、蔓延防止と感染を予防することにより、安心して出産・子育てできる環境を創出する。	子どもあゆみ保健課	延べ助成妊婦数 (年間)	人	5	11	A	4	A	1	C							
				延べ助成児童数 (年間)	人	500	763		539		404								
30	(3) ①	ファミリー・サポート・センター事業 児童の預かりの支援を受けることを希望する者（依頼会員）と当該支援を行うことを希望する者（提供会員）との相互支援活動に関する連絡、調整を行い、地域ぐるみの子育て環境の創出を図る。	子どもあゆみ保健課	マッチング数 (年間)	件	40	45	A	35	A	52	A							
31	(3) ①	子育て世代包括支援センターの設置（新） 子育て世代包括支援センターは、主に妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療または福祉に関する機関との連絡調整を行う。母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を実施する。	子どもあゆみ保健課	乳幼児相談件数 (年間)	件	50	87	A	92	A	108	A							

基本目標（3）若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる〈子育て世代に選ばれる地域創造戦略〉

「数値目標」令和2年度～令和6年度までの出生者数で、200人を目指す。

- A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している
 B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している
 C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている
 D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績値												総合評価
				評価指数	位 単		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
② 教育の魅力化																			
32	(3) ②	ICT教育事業（新） 少子化が進む海部小学校（モデル校）で遠隔授業システム機器を活用し、学習意欲の向上、学びの活性化及び学習理解の質を高めるとともに、ICT活用の効果検証をさらに強化し、小規模校のデメリットを解消する。また、今後さらに小規模校化することが予想される海南小学校、穴喰小学校へも遠隔授業システム機器等の導入を計画し、社会性の育成や教育の機会均等、教育水準の維持・向上等、小規模校のデメリットの解消や緩和策とする。	教育政策課	AI教材活用年間時間数（年間）	時間	70	100	A	90	A	219	A							
33	(3) ②	地元高校育成事業（新） 海部高校の魅力化や学生の学力等の向上を目指して、通信衛星講座・スマホ学習、海外短期留学・英検・英語小中高交流体験、部活動の遠征や強化補助・人材育成PR動画の作成・高校地域説明会等を行う。	教育政策課	入学者数（年間）	人	100	105	A	109	A	85	A							
34	(3) ②	グローバル教育事業（新） 将来、児童生徒が「使える英語」を身につけて、グローバル化に適應できる人材に成長できるよう英語を学べる環境づくりや体制整備を行う。具体的には、英語教育スタッフの充実した配置、グローバル教育推進会議の開催、実用英語技能検定無料化、CEFRに基づく海陽町版CAN-DOリスト作成、放課後英語教室(POP English)やイングリッシュキャンプの開催等を行う。	教育政策課	中3にて英検3級合格率（年間）	%	65	34	D	46	C	51	B							
				中3にてCEFR(A1)基準率（年間）	%	70	0		32		35								

基本目標（４）地域を創り直し、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する〈住み続けることができる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後、健康寿命を男性、女性ともに延伸させる。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績評価指数 (KPI)		目標値	実績値												総合評価
				評価指数	単位		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
① 地域コミュニティの維持・再生																			
35	(4) ①	海陽町地域づくりを考える会議の開催（新） 農業や林業、漁業関係者、商工会関係者等と連携し、仕事を中心とした具体的な協議の場を持つことから始め、時代のニーズにあった地域づくりの施策や課題解決のための対策等を協議しながら考案する。	行革政策課	協議会の開催回数（年間）	回	3	2	B	2	B	0	D							
36	(4) ①	みらい創造事業 移住・定住希望者への相談窓口としての対応や移住・定住後のコミュニティづくりを支援する。また、地域の魅力発信として伝統文化、風習や地域の情報等の情報集約を行うとともに、一次産業等の担い手受入の支援を、住民組織へ委託し、移住・定住者からみた魅力ある環境を整える。	行革政策課	住民組織による取り組み事業数（累計）	件	20	6	A	12	A	18	A							
37	(4) ①	海陽町みらい創造戦略補助金による支援 「海陽町みらい会議」において提案・採択された、住民が自ら考え実践する地域の活性化や地域の課題を解決する活動を支援するため、補助金制度を活用し、その活動を支援する。	行革政策課	取り組み事業数（累計）	件	20	6	A	16	A	26	A							
38	(4) ①	海陽町ふるさと創造戦略補助金による支援（ふるさと創造事業） 地域住民・団体等の自主的な地域の活性化や地域の課題を解決する活動を支援するため、補助金制度を活用し、その活動を支援する。	産業振興課	取り組み事業数（累計）	件	5	1	C	1	D	1	D							
				支援による起業・創業件数（累計）	件	5	0		0		0								
39	(4) ①	公民館類似施設等の施設整備の推進（新） 公民館類似施設等に関して、トイレの洋式化やエアコン等の整備を行うとともに、施設全体のバリアフリー化に向け、改修整備を、補助制度を活用し推進する。現在の補助金制度では、分館等の修繕・改修を行う場合、事業費の50%以内の額（ただし、当該地区の1世帯あたりの負担が2万円を超える場合はその超過分について加算した額）を補助することとなっている。	地域つながり課	施設改修取り組み件数（累計）	件	10	5	A	8	A	14	A							

基本目標（４）地域を創り直し、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する〈住み続けることができる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後、健康寿命を男性、女性ともに延伸させる。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績 評価指数 (KPI)	目標値	実績値												総合 評価
						R2		R3		R4		R5		R6				
						実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
② 地域づくり人材の育成・支援																		
40	(4)②	移住定住起業支援事業 (サポート人材育成事業) 外部専門家を講師として招き、移住・定住・起業のサポートに関わる人材を育成する。	産業振興課	受講者数（累計） 人	250	0	D	0	D	110	B							
41	(4)②	認知症サポーター養成事業（新） 地域を中心に、認知症の人や家族の心理を理解し、早期のうちに医療をはじめとする関係機関につなぎ、安心感や生きがいを持って生活できるよう、地域で活躍する認知症サポーターの養成を行う。	長寿福祉 人権課	新規認知症サポーター人数（年間） 人	120	24	D	149	A	108	A							
③ 保健・介護・福祉連携による高齢者の活躍する社会の実現																		
42	(4)③	行き！活き！高齢者外出応援事業（新） 本町に在住する75歳以上の高齢者で一定の条件を満たしていれば、1ヶ月あたり100円券を10枚交付し、閉じこもり及び心身機能の低下を予防し、高齢者の外出を支援する。	長寿福祉 人権課	外出応援事業 利用人数（年間） 人	500	389	B	510	A	603	A							
43	(4)③	在宅医療・介護連携の推進事業（新） 海部郡医師会と海部郡在宅医療介護連携推進事業を円滑かつ効果的に運営するため、地域の医療・介護の資源の把握、在宅医療・介護連携の課題抽出と対応の検討、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築等、地域医療・介護連携に関する海部郡内の連携等の業務を推進する。	長寿福祉 人権課	住民向け講演 会の参加人数 （年間） 人	110	0	C	93	A	106	A							
				在宅医療介護 者研修の参加 人数（年間） 人	60	65		491		189								
44	(4)③	特定健診・特定保健指導の実施率の向上（新） 中高年層の生活習慣病対策をはじめとする健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防等の視点に立ち、特定健診を受診することによりデータに基づいた適正な特定保健指導を実施する。	子どもあゆみ 保健課	特定健診受診 率（年間） %	60	65	A	66	A	65	A							
				特定保健指導 実施率（年 間） %	95	98		98		97								

基本目標（４）地域を創り直し、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する〈住み続けることができる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後、健康寿命を男性、女性ともに延伸させる。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績 評価指数 (KPI)	位 単	目標値	実績値										総合 評価	
							R2		R3		R4		R5		R6			
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価		
45	(4) ③	介護予防事業「かいはよう元気体操教室」(新) 一般高齢者を対象として、小地域で短期集中型の運動教室を開催し、教室終了後は自主グループで活動を継続できるよう支援を行う。「徳島県理学療法士会版いきいき百歳体操」を中心とした筋トレ等を週1回、10回コースで実施し、その他運動指導等も行う。	長寿福祉 人権課	自主グループへの参加人数 (年間)	人	180	292	A	296	A	352	A						
④ 消防・防災体制の充実																		
46	(4) ④	家具固定専門員派遣事業 地域の自主防災組織が主体となり、地域の防災活動の一環として個人住宅の家具の固定を実施する場合に、本町が認定した家具固定専門員を派遣する。	建設防災課	設置世帯数 (累計)	世帯	150	0	D	0	D	0	D						
47	(4) ④	ドローンを活用した防災対応推進事業(新) ドローンによる安否確認の方法を研究し、安心安全の防災対策に取り組むとともに、発災時どう活かしていくかを検討していく。発生が懸念される大規模な土砂災害や浸水災害、またそれに伴い、想定される集落の孤立化について、ドローンを活用した事前調査や安否確認、救援活動体制の構築等、複合的な防災・減災システムを整備し、災害に強いまちづくりを推進する。	建設防災課	ドローン操作学習受講者(累計)	名	10	0	D	1	D	4	B						
⑤ 環境・エネルギーの先進公共施設の推進																		
48	(4) ⑤	海陽町地球温暖化対策実行計画の推進(新) 町内公共施設において省エネルギーの取り組みである海陽町地球温暖化対策実行計画を推進するため、平成31年度に、海南庁舎、海南病院、海南海洋センターの3施設を選定し、照明器具のLED化、空調設備の省エネ化等の地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業を行った。今後は運用改善等により、毎年1%ほどの削減を行うことで目標達成を目指す。	住民環境課	CO2排出量 (年間)	t-CO ₂	4,094	4,034	A	4,040	A	4,052	A						

基本目標（４）地域を創り直し、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する〈住み続けることができる地域創造戦略〉

「数値目標」５年後、健康寿命を男性、女性ともに延伸させる。

A 基本目標の実現に向け、施策の方向性が順調に進行している

B 基本目標の実現に向け、施策の方向性がおおむね順調に進行している

C 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行にやや遅れが生じている

D 基本目標の実現に向け、施策の方向性の進行に大幅な遅れが生じている

No.	施策区分	事業名	担当課	重要業績		目標値	実績値												総合評価
				評価指数 (KPI)	単位		R2		R3		R4		R5		R6				
							実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価			
⑥ 郷土愛の醸成																			
49	(4) ⑥	ふるさと交流事業 ふるさとを離れて暮らす本町出身者同士の交流と親睦を図るため、本町に関する情報交換、特産品等の物産販売、ふるさと里帰りツアーを実施する。	行革政策課	ふるさと会の会員数	人	200	114	D	106	D	102	D							
				事業参加者数 (年間)	人	50	0		0		0								